

# Smile 庄内

岡山市立庄内小学校

学校だより No.26

令和5年2月20日発行



しょうじき なかよし いっしょうけんめい いのちだいじに

## しょうじき なかよし いっしょうけんめい

「しょうじき・なかよし・いっしょうけんめい」このスローガンは、庄内小の教育において長い間大切にされてきました。それは今も変わりません。ただ、その言葉の意味するところは、時代とともに少しずつ変化してきたように思います。改めて今、この3つのスローガンで大切にしたいことを明確にしておこうと考え、このような学校だよりを書くことにしました。

### 1 しょうじき

私は、子どもの頃、親や先生によく叱られました。だからでしょう「正直に言いなさい!」と叱責される暗い場面をついこの言葉から連想してしまうのです。しかし、私たちが庄内の子どもに求めているのは、そんな場面を想定してではありません。子どもには何よりも自分自身の気持ちに正直であってほしいと願っています。自分が何を願い、何を考え、どう感じているのか、それらを自分自身が理解し、他者にも伝えていく。そんな力や子どもの姿をこの「しょうじき」という言葉に重ねたいと思います。そのためには、子どもが自分で選び決めていく自己決定の場を保障したいと思いますし、そうすることで子どもの主体性を育てていきたいと考えています。

### 2 なかよし

表面上「仲良く」するために、子どもが自分らしさを失ったり、少数派の子どもに我慢を強いたりすることは私たちの望むところではありません。「なかよし」とは、自分と同じように他者を尊重する態度だと考えています。自分を理解しようとするのと同じように他者を理解しようとしてほしいのです。自分の思いや願いを大切にすれば、当然、他者と意見が異なったり、対立したりすることがあります。そんな時、どちらが正しいか、どちらが勝つかで争うのではなく、互いの思いを聞き合い譲歩し合って、両者の落とし所を見つけることができる、そんな経験を積んでいってほしいと願っています。また、少数派の意見や思いであっても大切に扱い、それを生かす工夫はないか考えられるような人に育ててほしいと思います。様々な立場の人々が共に暮らし、多様な価値観が共存する、これからの共生社会を生き抜く力をもった人に育ててほしいのです。

### 3 いっしょうけんめい

一生懸命とは、目標や夢に向かってがんばる姿、課題解決に真剣に取り組む姿だと解釈しています。子どもも大人も、一生懸命の後には、その結果がどうであったか、成果は出たのかを問われがちです。しかし、結果にとらわれず、一生懸命取り組んだその過程を何よりも大切にしたいと私たちは考えています。たとえそれが結果に結びつかなくても、一生懸命の過程で、自身の小さな成長を自覚したり、出会った人や助けてもらった友達に感謝したりして、努力の過程の中にある小さな幸せや喜びを味わえる子どもを育てたいと思います。努力を楽しめる子どもになってほしいのです。子どもは、未来に向かって今をがんばっている存在です。将来のために今を犠牲にしてがんばるのではなく、子どもの今を大切にしながら将来の幸せにつなげたい、そんな願いを「いっしょうけんめい」の言葉に重ねたいと思っています。